

## データから見る本市の現状

### ● 人口構成

平成 17 年の 81.4 万人をピークとして減少に転じ、2050 年の将来推計人口は約 62 万人となる見込。区別に見ると、2050 年には南区、西蒲区で老年人口が生産人口を上回る見込み。(図表 2、図表 4)

### ● 平均寿命・健康寿命

平成 22 年からの 10 年間で平均寿命、健康寿命ともに延びている。

平均寿命と健康寿命(日常生活動作が自立している期間の平均)には差があるが、縮まっている。(図表 6、図表 8)

### ● 健康意識・行動

自身の健康状態を「良い」「まあ良い」「普通」と回答した人の割合は、令和 5 年度調査では男女ともに 75% を超えているが、平成 30 年度、令和 2 年度より低くなっている。(図表 11)

### ● 人口動態

生活習慣病の三大疾患が 46.5% を占めている。(図表 20) 全国に比べ、脳血管疾患が高く、そのうち脳梗塞は全国に比べ約 2 割高い。(図 21)

### ● 介護保険

認定者数は年 1,000 人前後のペースで増加、高齢者人口に占める認定率は 19% 台で横ばいだが 2040 年には 27.5% になる見込み。(図表 25)

### ● 特定健康診査、特定保健指導等

令和 4 年度の受診率は 38.0% で目標には達していない。新型コロナウイルス感染症の影響により一旦低下し、その後コロナ禍前の受診率に回復しつつあるが、県と比較して低い。(図表 30) メタボリックシンドローム該当者が全国、県と比較しても割合が高く、微増している。(図表 34)

令和 4 年度の特定保健指導の実施率は 15.7% で目標には達しておらず、全国、県と比較しても低い。(図表 37)

有所見率は HbA1c が 59.3% と最も高く、次いで LDL コレステロール、収縮期血圧の順となっている。(図表 35)

### ● 医療費

加入者 1 人当たり医療費は増加傾向にある。(図表 39)

生活習慣病の加入者 1 人当たり医療費は 50 歳以降に大きく増加する傾向にある。(図表 41)